

地域医療研修レポート
名古屋第一赤十字病院 研修医 2 年目

新城市民病院では 4 週間、研修をさせていただきました。お忙しい中ご指導くださった上級医の先生方、お世話になったスタッフの方々、ありがとうございました。

研修中は基本的に、総合診療科に来られる初診の患者さんの診察や、救急車で来られた患者さんの対応をさせていただきました。自分が対応した患者さんで入院が必要となった方については、入院後の担当医に入れていただき、フォローについて学びました。研修中に二度、作手診療所での診療も経験させていただきました。救急疾患から慢性疾患、内科系から外科系の疾患まで、幅広く経験し学ばせていただきました。

外来診療では、診察毎に上級医の先生に上申し、検査や治療など必要と思われる対応についてご相談していました。また毎日夕方にカンファレンスがあり、その日診療した患者さんについて報告する機会がありました。上級医の先生に上申したり、日々のカンファレンスで発表したりする中で、自分が今まで、いかに問診をきちんとできていなかったか認識しました。その原因として、疾患に対する知識の不足、問診技術の未熟さがあり、自分の問診では不十分な情報しか取れない故に検査に頼りがちになっていたことを実感しました。疾患に対する知識をもっと確実なものにし、鑑別とその確率を考えながら問診をすすめ、根拠を持って検査や治療を進めていかねばならないということを、改めて実感しました。

入院診療では、治療に加え、帰宅後の生活を考えたフォローや退院時期の決め方などについても学びました。研修中に、地域医療連憩室でお話を伺う機会も設けていただき、漠然としか分かっていなかった介護や様々なサービスについての理解を深めることができました。

また日々の診療とは別に、朝の勉強会、uptodate 勉強会、EBM 勉強会など多数の勉強会に参加させていただきました。朝の勉強会ではさまざまな視点から医療にかかわる話題について教えていただき、勉強になりました。uptodate 勉強会は、自身が気になっていた事柄について、uptodate を用いて勉強する良い機会にもなりました。また、EBM 勉強会では、PECO・研究デザイン・プライマリーアウトカムなどに注目しながら論文を読むことについて学びました。質の高い論文の選び方や、より深く理解できる論文の読み方を教わり、有意義でした。

自身の研修病院のみではなかなかできなかった経験をたくさんさせていただき、多くの学びを得ました。今回得られた経験を、これからの診療に生かしていきたいと思います。